

復興道路<<三陸沿岸道路>>

かまいしやまだ おおつち やまだみなみ
三陸沿岸道路 釜石山田道路 大槌IC～山田南IC間が

平成31年1月12日(土)に開通します

～山田町内の三陸沿岸道路が整備完了～

国土交通省が事業を進めてまいりました復興道路 三陸沿岸道路のうち、
かまいしやまだ おおつち やまだみなみ
釜石山田道路 大槌IC～山田南IC間 延長8.0kmが開通すること
になりましたのでお知らせします。

また、今回の開通予定区間のインターチェンジ名称が決定しましたので
併せてお知らせいたします。

<今回の開通による主な整備効果>

- 緊急輸送道路の信頼性確保
- 迅速な救急搬送で安心・安全な生活に寄与
- 地域産業の復興支援

かまいしやまだ
【釜石山田道路】

1. 開通区間 延長8.0km

おおつち やまだみなみ
大槌 IC ～ 山田南 IC

2. 開通日

平成31年1月12日(土)

3. インターチェンジ正式名称

おおつち
大槌 IC ← (仮称) 大槌 IC

※当日の開通時刻、開通式典等については、後日お知らせいたします。

※今回開通する区間は、これまでと同様に無料で通行できます。

※今回開通する区間は、自動車専用道路となりますので、歩行者、自転車、軽車両、125cc以下の
二輪車は通行できません。

※インターチェンジ名称については、地元自治体の意見を反映し決定しております。

記者発表記者会：岩手県政記者クラブ、釜石記者クラブ、宮古記者クラブ、大船渡記者クラブ、東北専門記者会

問 い 合 わ せ 先

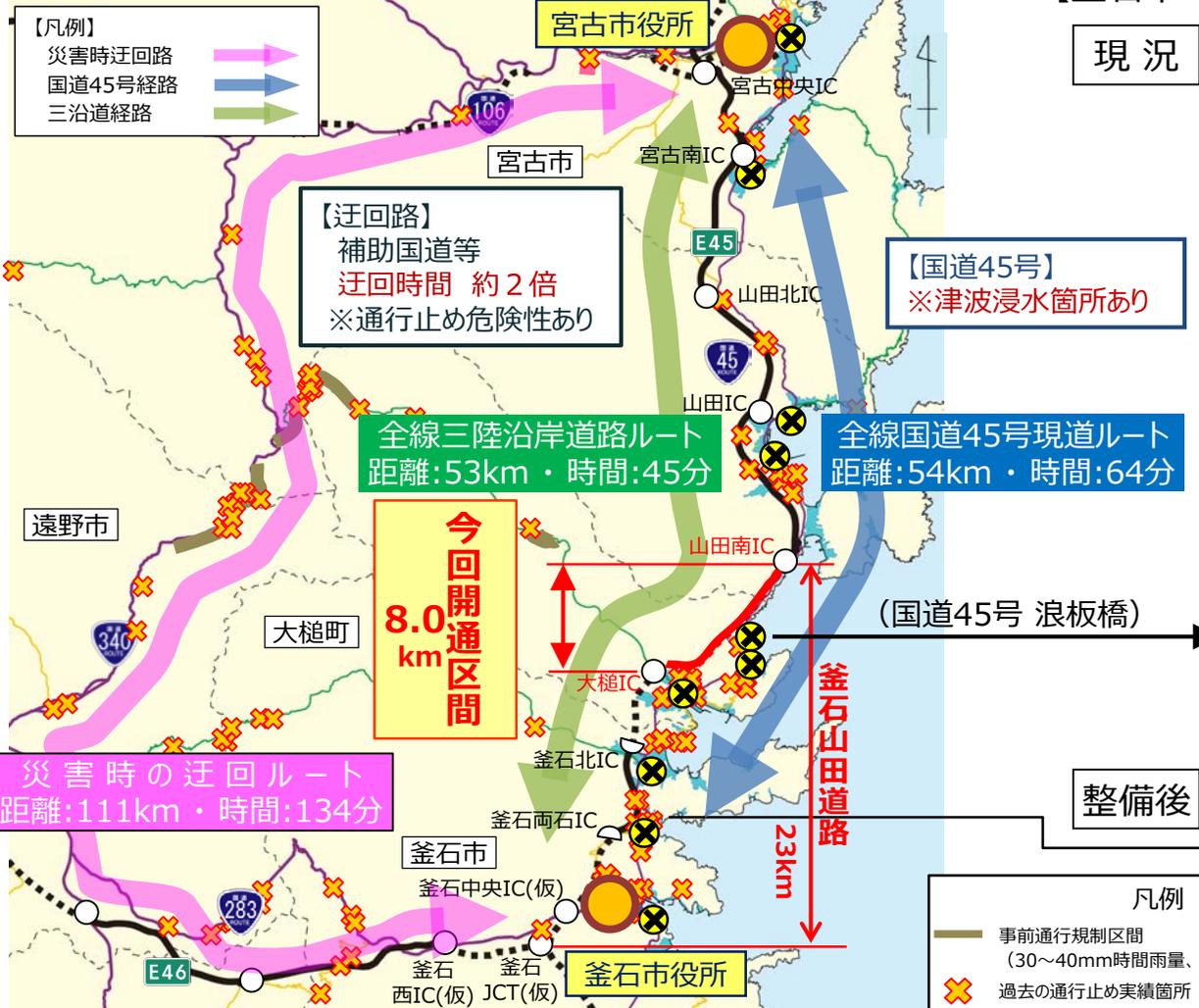
国土交通省 東北地方整備局 南三陸国道事務所 (代表) 電話：0193-28-4731

副 所 長 こ が わ て つ は る
古 川 哲 治 (内線204)

津波浸水区域を回避し、緊急輸送道路の信頼性確保

- ◆ 東日本大震災では、津波被害により国道45号等の幹線道路の一部が流失し、多くの箇所で通行止めが発生(約2倍の迂回が必要)。
- ◆ 今回開通区間は現道の通行止め区間を回避し、大規模災害時においても寸断されない強靱で信頼性の高い道路ネットワークを形成。

釜石市役所～宮古市役所間経路



【釜石市～宮古市間の防災機能向上】

- 現況**
- 津波浸水箇所・道路寸断箇所あり
 - 平成23年3月11日の東日本大震災において津波により現道が寸断された



- 整備後**
- 三陸沿岸道は津波浸水箇所を回避し通行可能



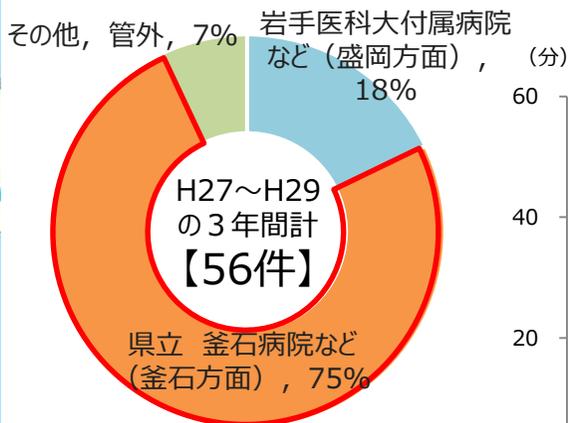
資料：平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査
 規制速度を基に釜石市役所～宮古市役所間の所要時間を算出
 ※通行止実績：岩手県、三陸国道事務所 H20～H29年度の10年間の全止を対象

迅速な救急搬送で、安全・安心な住民生活に寄与

- ◆山田町では近年の3年間で計56件の管外搬送が生じており、その大部分が県立釜石病院など釜石方面への救急搬送。
- ◆三陸沿岸道路の延伸により、山田町から県立釜石病院までの所要時間が現在の約5割（26分短縮）短縮する等、迅速かつ安定的な救急搬送を実現して安全・安心な住民生活に寄与。

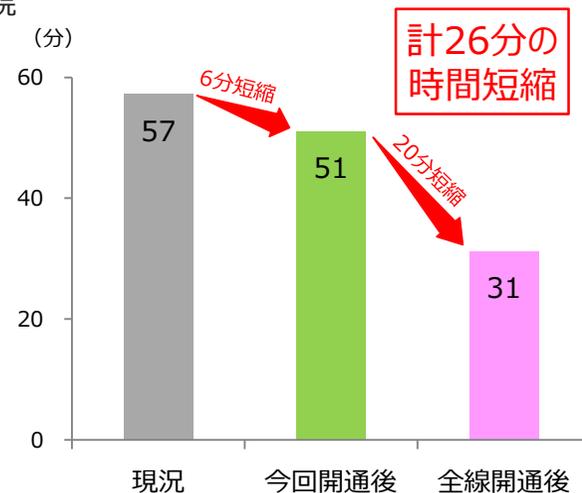


▼山田町からの管外搬送の状況



山田町からの管外搬送の内, 75%は釜石方面へ搬送

▼山田町からの管外搬送時間 (山田町～釜石病院の所要時間短縮)



※H27道路交通調査の昼間非混雑時・上下平均速度、および事業中区間の設計速度より、所要時間を算出

《山田消防署の救急隊の声》

- ・安静走行が特に求められる傷病者の搬送には三陸沿岸道路を利用します。
- ・三陸沿岸道は搬送時間短縮につながるため、**傷病者への負担軽減が期待**されます。

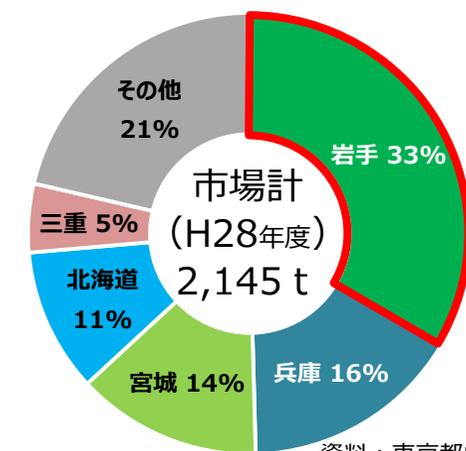
(H30.2 宮古地区広域行政組合山田消防署ヒアリング)

地域産業の復興支援（水産業）

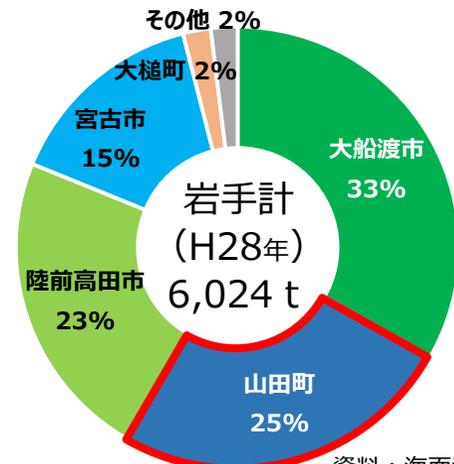
- ◆ 岩手県産「かき」の東京都中央卸売市場シェアは全国 1 位で、山田町は岩手県内 2 位の収穫量を誇る「かき」養殖が主要産業の 1 つ。
- ◆ 「かき」は種苗を宮城県より仕入れ、山田湾内で約 3 年間育成させ多くが関東方面に出荷しており、入出荷には復興道路を利用。
- ◆ 三陸沿岸道路の時間短縮で新たな受注チャンスが期待される等、回復傾向にある山田町の殻付き「かき」の出荷拡大を支援。



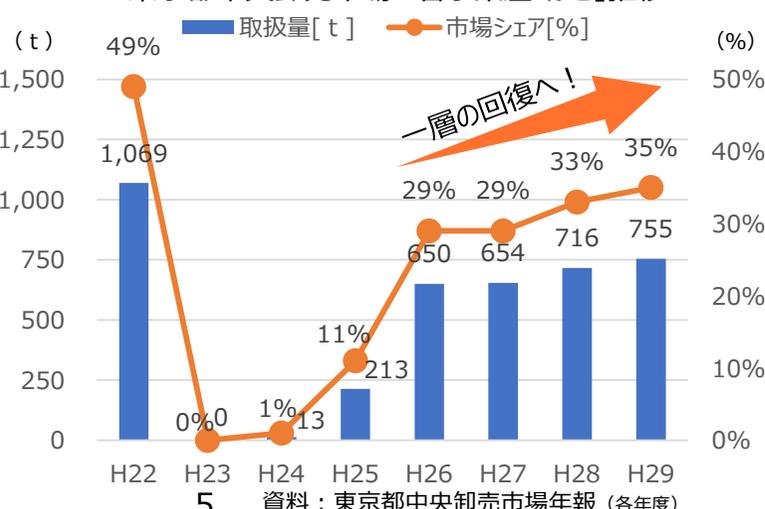
▼ 東京都中央卸売市場の「かき」取扱量
(生産県別シェア)



▼ 岩手県産「かき」の産地別シェア



▼ 東京都中央卸売市場の岩手県産「かき」推移



《水産業者の声》

- ・「かき」は宮城県万石浦より種苗を仕入れて山田湾内で約 3 年間育成。
- ・山田町のほか、岩手や宮城の三陸沿岸の「かき」が中継され、気仙沼で積み合わせて関東方面へ出荷。
- ・仕入れや出荷は、三陸沿岸道路や国道45号を利用しています。
- ・輸送時間が短くなれば、市場からの注文締切りを伸ばす事も可能になり、受注機会が増大する等、出荷拡大に繋がる事を期待します。

(H30.10 三陸やまだ漁業協同組合ヒアリング)